（郵便物認可 第三種郵便 明治四十年八月二十日）
昭和五年十一月十五日 磐城大衆新聞 第廿七號 (一)

磐城大衆新聞

毎月二回 一日、十五日發行
定價 一部十錢 廣告（一行五十錢 料（場所指定十錢增
發行所編輯人印刷人 長谷川兵衛
福島縣平町字堂ノ前二十番地
發行所 磐城大衆新聞社

義教費交付金 八萬三千餘圓增

廿日頃各町村へ交附

既報の如く本縣に對する本年度後期の市町村義務教育國庫負擔交附金は、七十一萬九千五百二十八圓九錢下附されたので、縣教育課で目下町村配當割當額の計算中で、今月廿頃には町村に交附される筈であるが、四年度に比較して八萬三千九十圓三十三錢の增額を示してゐる。教員と兒童の配當額の內譯は、教員に對するもの三十四萬八千九百八十七圓九十一錢、兒童に對する配當額は三十七萬五百四十圓十八錢である、更にこれを一人當りに見ると教員配當額は六十九圓三十二錢六厘、兒童一人當りは一圓七十九錢四厘に相當してゐる。

哀れな一家

何者の惡戲か 製餡屋御難

平町字鎌田町九製餡業望月卓次は最近營業を開始したので同業者より格安に商品を賣つてゐるので同業者が恐慌を感じてゐた處去る十一日午後六時頃望月方に電話で

双葉郡久濱町梅月堂菓子店であるが明朝迄に白餡二斗、赤餡二斗、北海小豆餡二斗（價格十五圓）を屆けてくれ更に三十分程經つて好間村扇屋菓子店であるが白餡五升、赤餡一斗五升を屆けてくれと注文があつたので製造し注文通り屆けた處右二軒ともそんな事は注文せぬといふので始めて惡戲にあつたものと判明、平署に屆け出でた。

平町字古鍛冶町無職柴野喜太郎（四六）は妻と十一歳を頭に四人の子供があるが長らく失職し飲ふに困るので附近の人々が同情し米を惠んでゐた處、その米代金も過般電燈料に徵收されてしまつたので餓死せんばかりの狀態にあるので同町山崎與三郎氏通り屆けた處右二軒ともそんな事は注文せぬといふので始めて惡戲にあつたものと判明、平署に屆け出でた。

請負人との間に 不正なき樣嚴達

市町村各種團體へ通牒

縣土木課關係の各種工事の請負に關し常に問題を惹起して爭論の種となり、また縣に頻々として不正或ひは物品の購入などすべて入札を以て請負者や購入先を決定入札の投書などをなすものありするものに對しては從來兎角當業者がその都度ゴタ〳〵が生じするものありて縣はこの點を氣に病み、去る十一月初め市町村學校關係の方面でも同樣であつた、即ちその原因は當局と請負團體に對し請負講入の入札に際しては絕對秘密を嚴守し、いやしくも請負人と結託したり商人と內通したり、その他不正は斷じてせぬ樣に嚴重な通牒あつた結果に外ならない、これがため請負人や商人の間にこれまで平

常磐炭界で 出炭二割二分制限

愈々一日から實施さる 從業員整理豫想に悒々

常磐炭界が貯炭整理の目的で數年前から出炭制限を實施して來たが更に全國石炭協會の協定に依て去一日から二割二分の出炭炭大制限を實施する事になつたがさらにだに不況に陷つてゐる石炭界は今や全く火の消えたやうな淋しさを呈してゐる、尙ほ磐城、入山、古河、福島等の大炭礦を始め群小炭礦は何れも此の發送制限に依り勞働者の整理をなすものと豫想され勞働者達は何れも戰々悒々としてゐる狀況である。

新生涯に入ります 警官酌婦と駈落

女に見込まれた結果

平警察署外勤巡査小野健二（二五）は去る十日午後八時頃平町四丁目飮食店林家方抱酌婦横濱市中區中村町生れ右京長女刈野きよ（十八）方に登樓家人の寢鎭まるのを窺つて同人と共に行衛を晦ました、主人は翌朝之を知り驚いて平署に屆け出でたので平警察署では警察部に事件の顚末を上申し十三日小野巡査を懲戒免職とした。

小野巡査は宮城縣刈田郡白川町に興行中の柴田曲馬團事務員村字都婆朝五郎長男で昨年本縣巡査を拜命、本年五月平署に來たもので、女は前借七百五十圓、四ヶ月程前同家に鞍替えとなつたものである。小署の手配を受けたものであるが野巡査は性溫厚で四町目の外勤を擔任してゐるうちきよえに思ひをかけられ毎夜の如くきよえに呼ばれて同家に泊つてゐたもので逃走の日もきよえからの電話によつて同家に至つたものである。小野巡査が下宿してゐた平町搔槌小路新井館には「新生涯に入ります」といふ書置きがあつた。

平第二小學校 通學道路問題

結局第二案に決定？

平町第二小學校通學道路問題は案を可とする者十五名、否とする者十四名で野崎派の修正動議成立し、第二小學校學校の通學道路は立町道路から學校正門に直通する所謂第二案と決定か？

藝妓久榮 取調べらる

平町田町藝妓屋榮家方抱藝妓久榮事東京府下西巢鴨町三郎次女草野テル（十六）は前借金の事で前抱主から訴えられ十三日平署の取調べをうけた。

曲馬團の事務員に 三人誘拐さる

平驛前鈴木理髮店方の雇人神田

十四日午前一時頃平町長橋町尼子稻荷神社廊下に年齡五十五歳前後請負人風の男が倒死してゐるのを發見平署係員が檢視したが身元不明で平町役場に引渡した。

尼子稻荷に 男の死体

▲稻泥棒捕はる

石城郡大浦村字狐塚大樂萬男（五十）は十一日夜他人の田から稻束を窃取し四倉署に捕はる。

大衆片々

▲經濟界立直しは凡ての不均衡を打破するにあり。

▲平陽酒井女史の銅像除幕式同校庭に於て盛大に執行す。

▲第三小學校通學道路問題所謂第三案に決定？

▲常磐炭礦界で出炭二割二分制限愈々一日から實施さる。

▲從業員整理豫想に悒々か。

▲本縣財界の巨頭湯本無盡會社の發展成る、村落の如きは村長先率し村民に加入さす。

▲常磐線超特急車試運轉平、上野間來る十六日依り施行さる

▲不振となつた產業組合事業購買減は農家の不況販賣高減價格の下落から。

▲愈々豫算が纏まり政局は安定した、事業會社は將供倒し、百姓は總潰れになるのか、これか御目出度のか？

▲橫領局員桑原に懲役三年の判決、次に田村局長を相手に橫領した公金一萬數千圓代償請求私訴は被告桑原が辨償すべしと判決さる。

▲小名の寄附金百萬圓は心配なし、生前同族間の遺言、逝けるる淺野總一郎翁の美擧。

某鰻屋へ

メソッ子生

▽お米が一升二十錢程度、白菜が貴五六錢、何もかも物價が下落した今日、ボリ屋の見本として、推奨するに足る商賣が存在してゐるから御參考までに。

▽それは外でもない鰻屋といふ特種な商賣で、グルヂョア相手の營業だ、貨乏人は謹んで句ひでもかいで默つておれといはれゝば引込むよりほかないが、その暴利かたは角兵衛どころか、三倍以上もせしめるのだから呆れる。

▽この間某鰻屋に、鰻ドンはいくらでできるときいたら、一圓三十錢のしかできないと剣もホロ〳〵の御挨拶だつた一圓三十錢といへば、まかすと大の男が二日も勞働しなければ、とれぬ此頃の賃金である、ブツたまげざるを得んやだ。

△それなら鰻ドンの原價はどれ位のものか、少しく調査して見ると、次のやうな勘定になる。まづ一ばん金のかゝるのは鰻だが、此頃の相場は上モノで三十割から四十割、百匁三本の食ひごろのでも一本十錢で上る。

▽それに丼の飯だが山盛にして二合はいるものとして、せい〳〵五錢、割賃、炭代、職人の手間の元價價却まで見積つても十錢位ですむ、すなわち合計して三十錢乃至三十五錢なら間違ひはない。

△そのほかの經費としてタレから串、蒸し代、丼は漬物が少々、割箸と出前持の手間賃だが、これも二三錢ですむとすると、まず四十錢で上等のウナドンができるわけだ。そいつに一圓三十錢づつ頂戴か叶ふのだら、一日に三つも丼をうれば家内安全らくに食つて行かれるではないか。

▽汽車辨のウナドンは丼ごと五十錢である、もつとも少し位は味が劣るかも知れぬが、あの程度でもウナドンを食つた氣分にはなれるそれにもかゝはらず手前共は一圓三十錢のしかできませんと頑張つて居るうちに入口へ蜘蛛が巢をかけるやうになるやホリ屋たるも、またつらひかな。

北澤樂天全集豫約趣意書

秋もいよ〳〵深くなりお互すみ心地よい時候になりました。さて今回我國漫畫會の泰斗として獨自の境涯に斷然異彩を放たれてゐる　北澤樂天先生が一世一代の仕事として試みられた『樂天全集』が左記の方法で一般愛讀者各位にも御承知の通り先生は昨年八月佛國大統領の後援により於て先生の個人展覽會を開催され、亦引き續ぎ英、米兩國に於て同展覽會を催し、之れが爲め歐米の全天地に非常な人氣を拍し、我國漫畫界の權威を海外に知らしめたのである。先生の畫想筆致には他の追從を容さぬ剛健と諷刺、瀟洒さが畫面全体に溢れ、一点一角はすでに人生の縮圖を爲し、社會の羅針盤を形成し。一讀—一閲は一閲ごとに人生裡面の生活内容が心行くまで無限に展開されて行くのであります。實に之れ世を明るく愉快に所謂人生行路の指針とも云ひつべきであります。此好機を見遁さず秋は燈下親しむとか申しまして讀書三昧に耽るには絶好の時季であります、此の時—此の際—この一大至寶『樂天全集』を座右に飾られる事は御家庭を一層明るく愉快に導く最も良き友ではないでせうか。此に御願ひいたします進んで御賛成御加入あらんことを切に御

平町　賀澤忠治方

樂天全集頒布方法

▽全巻拾貳冊

▽毎月一回　一冊配本十月（昭和六年九月終了）

▽一冊金壹圓五拾錢

▽代金は配本の際引替のこと

▽申込所　石城郡平町　賀澤忠治方

小資本にて今後見込ある職業

但し十三歳より十五六歳迄

見習徒弟募集

洗張　きみぬき　專門

磐城平町一丁目川岸通り

小松崎洗張本店

電話三七九番

新築落成

マルトモビル

柴田書店

書籍・雜誌・文房具

平町四丁目角

電話一八五番
五九七番

◎驚異的効果を有する
座藥　美神丸
内服用　美神丸

◎藥事衛生の御相談は親切第一の是非　山野邊藥局へ

◎秤ウリ高級クリーム開始
◎化粧品特に勉強致します

銘酒　福寿

石城郡内郷村

醸造元　四家又一

平窪村

銘酒　白馬の雪

醸造元　松本徳一

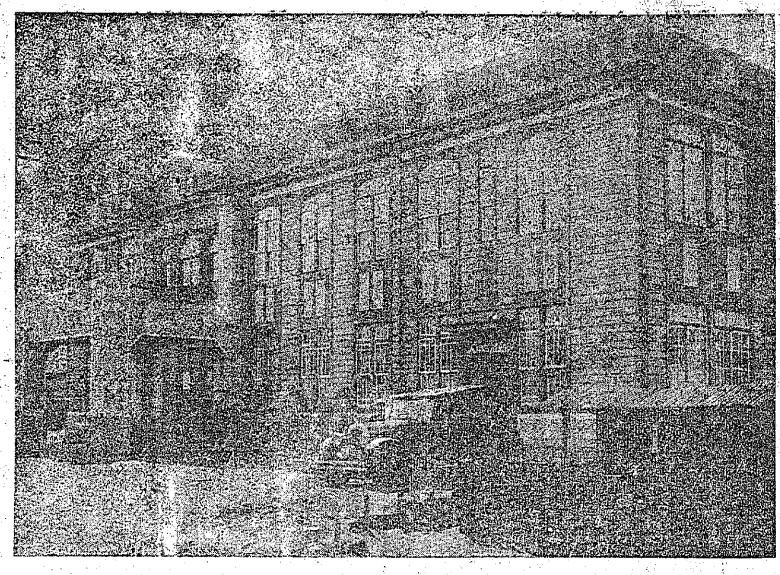
電話二八五番

和洋銅鐵金物問屋

㊇釜屋商店

諸橋久太郎

電話九九番
九九番



◉看護婦募集

磐城共濟病院

平町　電話六四一番